

商 況

販賣旬報 第153號 昭和6年2月21日

製鐵所販賣部

厚板統制組織生る — 2月18日假調印を終る —

2月18日、日本に於ける厚板全メーカーの代表者は白石元治郎氏司會の下に厚板統制組織の細目協議を議し、首尾よく意見の一致を見て、共販組合形成の假調印を終了した。長い間鐵鋼界の痛として取殘されてゐた厚板統制問題が急轉直下の勢でかくも速に共販組織に迄漕ぎ着け得たのは第一に誰しもが難問中の難問と思はれた該問題の産婆役として矢面に立ち斡旋の勞をとられた白石元治郎氏の並ならぬ御努力の賜と云はねばならぬ。

厚板の共販を作るの必要が製鐵所より提唱せられ、H.メイカーの間に議せられたのは昨年5月の交、それから幾度の會合、協議が試みられたことだらう、而も割當數量の問題に至つて、はたと行き悩み、一方經濟界の不況深刻の加はるにつれて益々暗雲を濃くして昨年10月を最後に全く決裂の状態に陥つて了つた。其の間市況は加速度的に悪化し行き、殆んど世人をして底値の幾許なるかを知測せしめず、ひいては他鋼材の値段までも引つげり込んで、さらでだに不況を啣つ鐵鋼界の人氣を害れたこと甚しい、然し競争の不利は誰よりもメイカー自身が知つて居るのだ、年改まると共に各社協調の氣運動いて少くとも再度の協議を望むもの多く、産婆役として白石氏の買つて出られたのをきつかけに1月21日丸の内會館に集合、共販組織を前提に比率の討議を試ることゝなつた。遺憾ながら當日は各社の希望數量に隔絶の差あり到底圓滿なる解決を期待し得ない事明な爲白石氏に一任することゝし各社の希望を白石氏の手元まで提出することを約して散會、其後數日白石氏は共販の必要と利益を説き、互讓の精神を力説しつゝ各社に交渉の結果遂に一致點を見出し大體の了解を得るまでに至り2月18日愈々細目協議決定の運びとなつた次第である。

共販組合の大綱は次の如くである。組合員 製鐵所、淺野造船所、川崎造船所、東海鋼業の四社 統制品目 6 粘以上の厚板全部にして、耳付、切板、定尺の全部に互り、官廳用品、自家用品、規格品、無規格品の何たるを問はず一切之を包含する。

2 級品以下の端物は協定比率に含ましめざるも其の販

賣は組合に於て取扱ふ。

販賣比率、製鐵所 35%、淺野造船 30%、川崎造船 30%、東海鋼業 5%

販賣方法、組合の販賣事務所を設け、其の事務所以外に於ては各社各自注文を引受ることなく、組合に収集せられたる全注文量を前記比率に於て各社に分配し、割當てられる注文は各社各自其申込先と契約を締結する。

販賣値段 理事會に於て毎月之を定める。

實施期 昭和6年3月1日より、上の主旨に基いて19日各社より一名宛起草委員を選出し製鐵所に會合、協定書を作成正式調印の段取を作ることになつてゐる。尙實施期前に於ても共販組合の精神を延長して18日即日よりの注文は假に製鐵所一所に於て受けることゝし全注文を組合協定比率に於て分配することゝなつた。兎も角共販組合の成立により混亂状態にあつた厚板界が全く安定し、一般鋼材界にも一大光明が認められたことは大慶の至りと云はなければなるまい。

3月積線材協議會 日本線材共販組合が確立しての第1回協議會を2月13日當所東京出張所に開いた。

劈頭、共販側の意見として今後の賣出に就て次の提案があつた。1、販賣方法は大體に於て薄板共販組合に準ず。2、賣出數量は製鐵所、神戸製鋼の合計噸數を發表し其振當は賣手選擇とし揚地は東京、大阪、名古屋、關門の4箇所とす。3、價格は協議會にて決定す。

また買手側から希望があつたが主要なものは下記3點である。

1、賣出は當分定期とせざる事。2、各社割當は從來の比率に據ること。3、製鐵所及神戸製鋼の製品は今迄實需家筋の使用慣習もあることなれば、賣手選擇とせず買手選擇とせられたし。

第3項に就ては神戸製鋼は追々製鐵所のインゴットを使用するを以て品質も概ね統一せらるゝ筈に付賣手選擇とすることゝせり。3月積賣出に關する買手側提出外注値段及共販の賣出諸條件等は次の通りである。

1、外注値段及希望値段

| | | | |
|-------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|
| London | £ 6-5-0 | U. S. | \$ 30 |
| Ex. 1/2-3/4 | ¥ 73 ⁴² per K.T. | Ex. 49-1/2 | ¥ 72 ⁵⁵ per K.T. |
| 希望値段 | 製鐵所 ¥ 70 | 神戸製鋼 | ¥ 69 ⁵⁰ |

以上外注値段數及希望値段を参照し次の通り決定した。

1、3月積賣出數量 製鐵所、神戸製鋼合計 7,200 噸

- 2、價格(製鐵所、神戸製鋼共、同一價格とす)72圓50錢
- 3、揚地希望付にて申込のこと。
- 4、締切日 2月17日午後五時迄。
- 5、申込超過の際は成る可く従來の比率を考慮して決定すること。

猶製鐵所代金支拂方法は告知書發行後10日拂に變更された。

線材申込と引受 17日締切つた線材の申込は次記の通り賣出吨數に25吨不足したのみ符節を合した様であつた。

| 内譯\揚地 | 大阪揚 | 東京揚 | 名古屋揚 | 計 |
|-------|-------|-------|------|-------|
| 神戸製品 | 3,130 | 70 | — | 3,200 |
| 製鐵所製品 | 1,165 | 2,640 | 170 | 3,975 |
| 計 | 4,295 | 2,710 | 170 | 7,175 |

近頃の線材 大阪方面で特に噂の種となつて居る2月3月の線材の輸入は誰れしも氣になる處であらうが別表「速報」に現はれた數字は2月中旬まで3港合計3,667吨で流石に東西共前月に比して増加した。今迄どんな傾向を辿つて居つたか將來の参考に昨年7月以降の3港の數字を並べると次の通り。

| 地方 | 昭和5年7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 昭和6年1月 | 2月(18日迄) |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|----------|
| 阪神 | 2,986 | 4,719 | 3,848 | 2,928 | 1,815 | 2,295 | 2,494 | 3,013 |
| 京濱 | 346 | 1,425 | 561 | 650 | 202 | 237 | 407 | 654 |
| 計 | 3,332 | 6,144 | 4,409 | 3,578 | 2,017 | 2,532 | 2,901 | 3,667 |

即ち昨年下半年は漸減の趨勢を辿り11月が最低となり12月より再び増加した初めた、此の増加の傾向が作る曲線と、外注値段の變化が其儘市場の硬軟を支配するものと認められる。

ブラツセル齋藤囑託入電 2月7日、市場閑散にして下押し氣味強く、1志餘りの値下りを見た、然し、市場の意見としては現在メーカーはコスト以下の生産をなしつゝあり、市場在庫も減少したるを以て、より以上の下押しは見まいと云はれて居る、尙海外は既に底入れと見て居る向が多い。

2月20日 市場閑散にして價格不變。

2月7、13、20日入電價格(F.O.B. アントワープ)

棒鋼 大型山形中 小型山形 工形(B.S.) 鋼板(3/8")

3-19-10 3-18-0 4-C-0 3-12-0 4-11-0

東西市況——一服 連日の悪天氣と來勘の端境の爲め市場も一寸一服の形となり特に大阪方面は舊正月を迎へて一層閑散と見られて居る。

然し部分的に見ると丸鋼は色々の胸算用から、大型物は定期問題を圍り、厚鋼板は共販成立を氣構へて硬軟とどりに彩られて鋼材界は其意味から活氣と、沈滞の交錯に推移して居る。

荷動きも不需要期相當にはある模様で其點では大して悲觀もしては居らないが、何は兎もあれ3月の聲を聞かないでは海のものとも山のものとも見當は付かないと傳へられて居る。

東京市況

丸鋼 總體に値段も落ち付つき模様で6mmは保合ひ、9mmは割合に荷動きもないが割合に駢りとの噂。12mmだけは品薄で硬化を續けて居る。ベース物は先旬迄の騰勢も此邊で一吋停頓して稍力弱くなつたと傳へられて居る、今後の進展に就ては需要の如何も勿論重大なる原因とはなるが、供給方面にも相當關心を持たれて居る模様である、中丸以上保合。

角、平、鋼 角、平共地方面が大部あるのと消費量が少い爲硬軟共其影響が至極鈍感で前旬の軟調が改まつたと云ふ理ではないが豫期された入荷も入るべき處へ入つた模様である爲、大した悪化もなく推移して居る。

型鋼 型鋼全般に前旬來の陰鬱の空氣益々濃厚になつて來たと傳へられて居る中型等山は安値惡材料の噂に脅かされて、共販成立氣構の強氣材料を打消し氣味な爲め伸びず、大型等山も不相變賣逃げの心持が改まらず、不等山も不味不變、溝工共平凡で、強いて云へば、溝の4×8が8圓50錢、3×7が品掠れて強振つて居る位のもので大體弱保合と見られて居る。

鋼板 丸鋼の一服に代つて活躍し初めたのは厚鋼板である。17日に於て45は俄然奔騰氣勢となつたのを初め60以上は18日成立の厚板共販の突飛な高値に市場も色めき立つた、然し市場値段と格段の異いがある爲一寸去就に迷つた形である、19日の市場は45以上1圓搦みの大暴騰を演じたが此處暫くは混亂の状態と見られて居る、16は入荷に順落し、32は今は耽りであるが入荷に懸念を持たれて居る様である。

大阪市況

丸鋼 細丸は引續き漸騰歩調を辿り稍々堅實な取引を實行しはじめ12mmなどは6圓5錢搦みにて取引されて居る。中丸は當所品出廻り順調にて稍落付を見せて居る。

角、平鋼 角鋼は中丸同様當所品の出廻り順調にて平靜を保つて居るが中でも8mmは6圓50錢と群鷄の一鶴の感がある。平鋼は伸鐵安値のもの、市場進出にジリ安歩調を辿り5圓70錢にて取引されて居る様子である。

型鋼 等邊山形鋼は市場在庫豊富にて頭重くこれに反して不等邊山形鋼は市場品掠れて稍々手堅く保合つて居る。溝形鋼、工形鋼共賣行は不相變芳しからず不味

靜の商狀を繰返し各問屋共定期契約終了に肩の荷おろした態である。

鋼板 さしも高値を唱へられし 1.6×3×6, 4×8 も其後可成の入荷を見る爲め漸落歩調に轉じ、漸く 1.6×3×6 9 圓 30 錢 1.6×4×8 8 圓 90 錢と釘付け化されて面白味は乏しい。6mm 以上は辛ふじて 5 圓臺を保つて居る。

線材 既報の如く大陸もの弗々入荷あるため大勢悲觀に傾き釘、針金等の製品界不振等環境の不良を映して買手は見送りの態度を持して居る。日本線材共販組合 3 月渡發表値段案外に高きため氣迷ひ状態といはれて居る。大陸物は 1 英噸 74 圓見當にて取引されて居る模様である。

鋳力板 執拗な不況に馴れた人氣は溺れる者は藁をも掴む譬の如く何んでも掴みたがるものである。最近某製鐵會社の舶來品ストック處分のため投資をしてゐるとの噂に市場は氣迷ひを呈してゐる。

販賣旬報 第 154 號 昭和 6 年 3 月 1 日

製鐵所販賣部

黑板厚物統制組織を凝議 鐵鋼界に於ける魔物の稱があつた 13 枚物も全國的共販組織の成立以來全く安固たる基礎の上に立ち、一般鋼材の慘落を他所に、今では線材と共に雪中の花を見出した奇妙な景色を現出してゐる有様であるが、13 枚物以外の黑板は無統制の儘に放任せられ、13 枚物にしげられたメイカーが厚物市場に乗り出して近來の値下りは殊の外甚しい。

此の點に就て 2 月 5 日黑板共販組合は臨時理事會開催を機に、統制の範圍を厚物にまで擴張してはと寄り寄り凝議した結果、別に厚物共販組合を組織することとなり、2 月 6 日神戸商工會議所に第 1 回打合を爲して大體の方針を決定し、2 月 23 日大阪電氣俱樂部に於て愈々具體的討議を試みた處意見全く一致を見、次の方針に従て創立に向つて努力することとなつた。

統制範圍 黑板 3 枚物より 12 枚物迄全部

割當比率の基礎 各社の全能力より日本黑板組合より現に受けつゝある割當を控除したる殘數量の 100 分比を以つて各社厚物の割當比率とするを原則とす。

但し中山はこゝ當分増産設備をせざることを條件に右 100 分比より除外し、一定數量を組合に於て優先的に販賣することとして中山工場に交渉すること。

實施期 昭和 6 年 4 月渡より。24 日上の旨を齎して中山工場を訪問し交渉せる處、大いに協調精神の利益に共鳴し、直ちに參加を快諾したので、前記の主旨に基き中山を除く他社(製鐵、川崎、徳山、日鋼)の割當比率を協議し、大體次の如く定められた。

| | | | |
|-----|-----|-----|----|
| 製鐵 | 川崎 | 徳山 | 日鋼 |
| 18% | 48% | 24% | 8% |

販賣方法其他具體的實行案に付いては來月初旬改めて協議を重ねることになつてゐる。

日本黑板共販理事會—3 月積賣出—

日時—昭和 6 年 2 月 21 日

場所—大阪電氣俱樂部

1、値段 4 月の需要期の手當にはまだ 1 箇月を餘してテト早過るがさりとて値段次第では在庫を抱えて置いても損はない、云はば端境の 3 月とて、買手の算盤、思惑もめぐるらしいが、獨逸品の亂賣に對抗せねばならぬ買手も損徳の打算に中々むづかしく、据置、2 圓下げ、5 圓下げ等々夫々の考を異にして意見は種々に分れたが、結局小細工を排して前月据置を發表した、東西四社の希望は外註 11—3—0 (280 枚) 之を換算して 5 圓下げの川崎もの 140 圓であり、2 圓下げの根據は運賃 5 志の値下りだけ引下げて置こうと云ふ立前である、各種發表値段次の如し。

内地向

| | | | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 3×6 版 | 川崎 | 製鐵 | 中山 | 徳山 | 日鋼 | 浪原 | 6,7,8 呎 |
| 268 枚 1 噸 | 145 圓 | 143 50 | 143 50 | 143 50 | 143 50 | 143 50 | 夫々 2 圓 50 錢引 |
| に付 | (据置) | 50 錢下げ | " | " | " | " | " |

輸出向

| | | | | | | | |
|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 3×6 版 | 川崎 | 製鐵 | 中山 | 徳山 | 日鋼 | 浪原 | 6,7,8 呎 |
| 268 枚 1 噸 | 110 圓 | 107 圓 | 109 圓 | 109 圓 | 109 圓 | 109 圓 | 夫々 2 圓 50 錢引 |
| に付 | (据置) | (50 錢) | (据置) | " | " | " | 下げ) |

尙輸出向の四社希望値段は川崎 107 圓即 3 圓下げてあつたが、さなきだに輸出向と内地向の差が關稅以上に開いてゐる現在、内地向を据置と決定した以上引下げることとは勿論出来ないが、値上げもどうかとの爲之亦据置に決定した。

1、賣出數量 現下の市況竝に四社の希望を容れて賣出數量も前月通り 9,000 噸と決定、之に前理事會に於てきめられた第 3 期比率を適用して各社賣出噸數下の如し。

| | | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|-------|-------|--------|
| | 川崎 | 製鐵 | 中山 | 徳山 | 日鋼 | 合計 |
| 内地向 | 5,625 噸 | 1,275 噸 | 1,125 噸 | 675 噸 | 300 噸 | 9,000 |
| 輸出向 | 1,875 | 4.5 | 375 | 225 | 100 | 3,000 |
| 合計 | 7,500 | 1,700 | 1,500 | 900 | 400 | 12,000 |

この外輸出向は前記同量の先物 (4 及 5 月渡) を賣出した。

日本黑板共販理事會—3 月積締切—

日時 昭和 6 年 2 月 25 日

場所 大阪電氣俱樂部

9,000 噸の賣出に對し 9,000 噸丁度の申込を得て 3 月としては先々上乘の成績、内東京 4,410 噸は大阪の 4,860

腕に對し鍍金機の運轉臺數から見て少し多過ぎはしなかつたかとの感じもある。輸出向は 3,000 腕の賣出に對し 3,775 腕と 775 腕の超過別に 4 月物 500 腕 5 月物 350 腕の注文あり先物賣出初めての記録である。

| | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|----|-------|----|-------|----|-----|---|-----|---|-------|---|
| 内地向 | 川崎 | 製鐵 | 中山 | 徳山 | 日鋼 | 合計 | | | | | | |
| 賣出腕數 | 5,625 | 腕 | 1,275 | 腕 | 1,125 | 腕 | 675 | 腕 | 300 | 腕 | 9,000 | 腕 |
| 申込腕數 | 5,670 | 腕 | 1,670 | 腕 | 1,125 | 腕 | 270 | 腕 | 265 | 腕 | 9,000 | 腕 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|----|-----|----|-----|----|-----|---|-----|---|-------|---|
| 輸出向 | 川崎 | 製鐵 | 中山 | 徳山 | 日鋼 | 合計 | | | | | | |
| 賣出腕數 | 1,875 | 腕 | 425 | 腕 | 375 | 腕 | 225 | 腕 | 100 | 腕 | 3,000 | 腕 |
| 申込腕數 | 1,450 | 腕 | 750 | 腕 | 250 | 腕 | 200 | 腕 | 50 | 腕 | 3,775 | 腕 |
| (3 月物) | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|--------|--------|--------|
| 外に先物申込 | 4 月物申込 | 5 月物申込 |
| 川崎 | 250 腕 | 250 腕 |
| 製鐵 | 250 | 100 |
| 計 | 500 | 350 |

従來 13 枚物と云へば腕當り 268 枚に定まつて居たのに、近頃薄手物と稱する噸當 280 枚 (腕當 276 枚) の獨逸ものがあばれ廻つて兎角平穩なるべき内地市場を脅す爲、川崎で試作として 276 枚ものを僅少製作し腕 3 圓のエキストラで市場に賣出した處、驚くべし約 2,000 腕もの注文があつた。然し理事會ではまだ此等ものを正式に賣出すことを議決してゐなかつたので、此等の申込を受けるとどうか議論があつたが、來るべき理事會に於て慎重協議根本的態度を決定することとし、一應賣手オペーションとして引受けることになつた。

輸入鋼材運賃値下 2 月 12 日 三井物産への入電によれば下記の通り輸入鋼材運賃は復々 5 志引下げにて結局 20 志となつたとの事である。

From London, Iron steel unpacked, freight reduced 5 s (namely 20 shillings). pig iron not included.

工形鋼米突化の件 下記寸法工形鋼は 耗ロール完成に付き昭和 6 年 2 月 26 日以後引合のものより耗寸法ものを適用せらるゝことになつた。

但し寸法にて引受済のものは其儘製作の上引渡す。

下記

| | | | |
|-------------|------|-------|-------|
| 耗寸法 | 附屬工場 | 舊寸法 | 舊附屬工場 |
| 6mm×180×100 | 二大形 | 7"×4" | 軌條工場 |

ブラツセル齋藤囑託發電 2 月 28 日入電

市場閑散。相場次の如し

| | | | | |
|----|-------|--------|------------|------------|
| 棒鋼 | 大型山形鋼 | 中小型山形鋼 | 工形鋼 (B, S) | 鋼板 (3/16") |
|----|-------|--------|------------|------------|

3-17-6. 3-17-6 3-18-6 3-9-0 4-10-0

猶、國際鋼塊組合の會合は巴里に於て開催せられ、3 月の生産は前月と同數量を維持することに決定せり、又 4 月以降の更改に就ては何等の決議も見ず。次回の會合は 3 月 11 日開催の豫定なり。

東西市況一鈍調 前旬來荷動きは期節相當にはある模

様で、地方筋も勿論例年の様な事は見られないが、季節的にホッホッ買進んで來たと云はれて居る、然し切角見直し状態となつた丸鋼が頭打の形勢となつた爲め復も總體的に空氣を暗くした感があり、加之型物全般の賣行不振が氣になつて大體から云ふと鈍調を辿つて居ると見られて居る。只例外としては鋼板が統制の威力により盛んに活躍して居るが、これも今の處どうやら行く處迄行き着いた心持と云はれて居る。

東京市況

丸鋼 問題の中心たるベース物は其後思ふ程の需要も喚起されず、入荷は目前にぶら下つて頭重氣味を續けて居る。6mm は品薄ながら 56、7 圓の伸鐵物が彷徨して氣分を悪くして居る、9mm も亦伸鐵物の入荷が品薄を打ち消して盆槍、12mm のみは品稀薄に耽り。50mm 以上先行入荷薄を氣構へて聊か期待を持たれて居る。

角、平鋼 角は引き続き入荷にあつて緩和状態を續け、平の 2½ 以下はまちまち、3" 以上も賣行不振に停頓の模様である。

型鋼 中型等山は共販の成否を中心に氣迷ひながら荷動きも相當あつて出廻りも鈍い爲め波瀾含みと見て居る筋もある。大型は等山、不等山共海外安に先行不安を感じ賣行も不振の爲め軟調を辿り、溝、工も同斷薩張り賣れず、溝の 2×4 は極端な手持薄であるが下げ止り程度より進展せず、2½×5 も安値物に脅かされて冴えず全般的に下押しと見られて居る。

鋼板 共販の高値に刺戟されて暴騰氣配であつた 60mm 以上の厚物も相當高値のまゝ漸く落ち付き状態となり 45mm も平均 7 圓處を稱へて強調と見られて居る。16mm は反落氣勢となり、反對に 32mm は底意相當強いと傳へられて居る。又大阪方面の間屋筋から厚板の耳付 50 圓で 1,000 腕以上引合があつたと云ふ噂が流布されて市場では氣持を悪くして居る。

大阪市況

丸鋼 先般來稍々堅實な取引を斷行しつゝあつた我丸鋼も本旬に入り何となく伸腦みの形勢にあり、唯當所品出廻り悪しき爲品 掠れを傳へられて居る 50mm 丈は 6 圓 30 錢と好調を持続してゐる。

角平鋼 平鋼 9mm は既報の如く伸鐵安値ものゝ進出に壓倒され無氣力な相場を現出して居る。15mm は最近鐵道方面よりの需要全くなき爲め浮ぶ瀬がないといはれ其他は相も變らず不味沈靜の商狀を繰返してゐる。平鋼は當所品及び伸鐵方面より安値ものゝ爲め相場は伸びず許 53 圓見當にて取引されてゐる様子である。

型鋼 山形鋼中型物は共販成立を豫想して一部に安

賣を警戒する向もあるが大勢には進行出来ず依然不味鈍重の域を脱せず。大型物も乙種定期の格落品に押されて弱保合なれど 15×130 のみは市場手當薄に 7 圓 20 錢と上向いて居る。溝形鋼、工形鋼共纏つた引合もなく小賣屋の領分まで割込んで其日暮しに移して居る。

鋼板 厚板共販組合設立の報に反騰氣勢にあつて厚板も一部手持筋の格安品賣出しとシーヤの安値もの、市場出廻りに搗て加へて需要捗々しからず茲許頭打ちの態と云はれ東京高も響かざるもの、如く 6mm 以上のものは 62 圓見當を唱へられて居る。

線材 内外共に格別人氣を刺戟する程の材料もなく従つて買手は依然沈黙をつゞけ賣手も自重して安値は賣急がぬため商内一向に展開の模様なく氣配は鈍重保合を呈して居る。

鐵力板 相場だからといつて不斷に動くと思ふのが間違つて居る。たまには休養もしよう。我鐵力板相場も暫らく休養期に這入つたかの觀がある。これは確詰需要期接近の關係でもあらうが而しこれとて目先大した期待はかけられぬであらうと見る向きが多い。

販賣旬報 第 155 號 昭和 6 年 3 月 12 日 製鐵所販賣部

丸鋼と鋼板(1.6 耗、2.3 耗)の販賣委託 1、豫て關東鋼材販賣組合と協議進行中であつた、當所製造の 9 耗及 50 耗以上 100 耗以下の丸鋼の販賣に就ては 3 月初旬に於て全部同組合へ販賣を委託することゝなつた、之により丸鋼の價格も統制せられ市價も當然安定することゝなつたのである。

2、今迄東海鋼業と當所との間に 4.5 耗、3.2 耗の共販組織があつて兩寸法に就ては統制の目的を達することが出来たが、1.6 耗、2.3 耗の兩寸法が別に當所で建値するに於ては其間兎角齟齬し易い點が出て來るので今度此兩寸法共 3 月初め東海鋼業へ其販賣を委託することに決定した、これにより鋼材各種の統制は中小型、山形鋼を餘すのみとなつたのである。

4、5 月渡先物協議會 3 月 7 日大阪に於て 4、5 月渡先物協議會を開く。各種統制機關の成立により當所先物協議會も追々と品種の減少を來し、丸鋼も今月より關東共販へ委託と決定したので影を没し、鋼板 1.6 耗 3.2 耗も亦東海鋼業へ共販を委託されることゝなつた。爲め鋼板は全部先物協議會より除外され、中小型山形鋼は日本鋼管東海鋼業及び當所との間に共販構成の進行中なるを以て之を見合せることゝし、決局残つた角、平鋼と型物だけの建値となつた。

又色々と問題のあつた定期契約も先口は先月を以て期

限が切れ今月より、先物のみとなつた。然して協議會へ掛けられた品種の内型物は 不相變外註値段の落潮者數く 2 圓乃至 5 圓値下げの已むを得ざる状態となつた、然し棒鋼は内外共大した變化もなかつたので前月据置と決定した。

4、5 月渡先物協議會

| 品種\區分 | 入電沖着 | 河岸着値段 (爲替%—%) | 希望 決定 | 備考 |
|---------------|---------|------------------|----------|-------|
| 角鋼 ベース | 4-13-6 | 66'10 | 65 | 据置 |
| 平鋼(本所分野) | 4-13-6 | 66'10 | 65 | " |
| 大型山形鋼 | 4-12-6 | 65'61 | 64 | 5 圓下ゲ |
| 工型鋼 | 4-8-0 | 63'43 | 62 | " |
| 溝形鋼(吋サイズ) | 5-0-0 | 69'25 | 68 | 2 圓下ゲ |
| "(耗サイズ) | 4-8-0 | 63'43 | 62 | 5 圓下ゲ |
| 丸鋼 ベース | 4-13-6 | 66'10 | | |
| 丸鋼 徑 9 mm | 4-16-0 | 67'31 | | |
| 中小型山形鋼 | 4-13-0 | 65'86 | | |
| 鋼板 6mm 以上 | 5-4-0 | 71'19 | | |
| " 4.5mm | 5-4-0 | 71'19 | | |
| " 3.2mm | 5-5-6 | 71'91 | | |
| " 2.3mm | 5-11-0 | 79'58 | | |
| " 1.6mm | 5-17-0 | 82'49 | | |
| 線材 B.W.G.No 5 | 6-7-6 | 75'36 | | |
| 黑薄鋼板 | 11-17-6 | 145'89 | | |
| 鐵力板 170 lbs | 1-11-6 | 16'73 | | |
| " 100 lbs | 0-17-6 | 9'35 | | |

4月積線材組合理事會 3 月 7 日大阪に於て理事會開催。4 月積線材に就き次の通り決定す。

- 1. 價格 { 製鐵所物 72 圓
 { 神戸製鋼物 71 圓 50 錢

前月は兩メーカー間の格差を設けざりしも買手側希望により 4 月積は 50 錢の格差を附することゝせり、尙別記の通り外注安に追従して前月に比し製鐵所物 50 錢、神戸製鋼物 1 圓の値下をなす。

2、數量 7,200 噸 (前月通り)

内譯 製鐵所 4,000 噸 噸 神戸製鋼所 3,200 噸
兩所製品の賣手オプションに就ては前月と變らず。

外注値段
品 種 沖着値段 河岸着 爲替
線材 B.W.G.No 5 6-5-0 72'25 %—%

3、4 月積輕軌條賣價改正 3 月 4 日恒例に依り 6 軌會を本所東京販賣部に開催した。輸入値段は運賃低下の影響を受けたるを以て 3、4 月積 6 軌會値段は若干の引下を決定すると共に一般賣現物値段を次の通り決定した。

- (イ) 數量 10 哩未滿 1 噸 金 76 圓(軌條のみ)
- (ロ) 同 10 哩以上 " 金 74 圓(")

日本厚板共販組合理事會記事 3 月 5 日神戸商工會議所に於て厚板共販第二回理事會を開催。製鐵所、川崎造船及東海鋼業の 3 社出席(淺野造船缺席)將來の組合事務の運用に就き協議する處あつた。尙當日製鐵所並に川崎造船所の 3、4、5 月發生の短尺鋼板を次の價格を以て各社別に賣出しを行つた。

次記

6 耗以上 3 月發生(4 月積)12 圓引 } 發生月發表の耳付
短尺鋼板 4 月發生(5 月積)11 圓引 } 鋼板最低値段標準
5 月發生(6 月積)10 圓引 }

但し川崎造船所物は右値段の 1 圓安

輸出概況—昭和 6 年 2 月 今月も相變らず輸出に恵まれない環境裡に推移した。銀相場は遂に 12 片の底をつき、歐洲鐵價は依然として軟化を續け、反對に内地市價は厚板共販成立を轉機として大勢一變の模様すら見えた。マニラに向けて約 1,000 吨の輸出が出来たことが特筆すべきことであらう。向先別輸出高次の通り。

| | 2 月契約高 | 本年累計 |
|-----------|---------|---------|
| 大連方面 | 1,240 吨 | 1,716 吨 |
| 天津、青島方面 | 169 | 395 |
| 上海、漢口方面 | — | 2 |
| 香港、廣東方面 | 81 | 2,930 |
| 新嘉坡、マニラ方面 | 1,127 | 1,152 |
| 合計 | 2,797 | 6,195 |

2 月中三港輸入—線材増加 1. 1 月には 9,000 吨と云ふ新記録の減少振りであつたが、2 月は總數量に於て 4,000 吨増加して約 13,000 吨となつた、其の主要なる原因は線材と薄板の増加で其他は殆んど前月と變らず激減のまゝ推移して居る。

2. 棒鋼は 473 吨で前月の 662 吨に比して減少の一路を辿つて居る。型鋼は工形に片影を留むる外 1 吨の輸入も見ない。特に等邊山形鋼が 2 箇月に亘つて 3 港共 1 吨の輸入もないと云ふ事は當然の事とは云へ愉快である、これで見ると實需家のセグションの好き嫌いも値段には敵はぬと見える。

鋼板(0.7 耗以下)の 1,500 吨は 2 月の輸入としては線材と共に増加の雙壁であるが、内容を調べると神戸は主として疵物で、横濱の 500 吨は主に鉄力板原板であるから共に鋼板共販の威嚴を冒瀆するものではないが大阪には若干の長尺物が混入されて居る、先月の輸入の旬報にも一寸書いたが色々の行き掛りはあらうが、此の長尺物には共販も考へる要があらう。

3. 問題の線材は 6,000 吨! 豫想された 1 萬吨に比しては可なり尠いが、兎角輸入は後れ勝であるから 3 月の輸入を見た上でなければ、何とも評し兼ねる、然し 6,000 吨でも現状では寧ろ重荷の感があつて特に大阪方面が盛んに下押し氣味なのは海外安でも手傳ふのではあらうが此の輸入數量も此頽勢を助成する大原因たる事を誰が否定出来ようか。

1 月中大陸市況 昨年 11 月末より大陸市況遽々昂騰氣勢を示し、其以上の暴騰はなかつたが 12 月も兎も角高騰相場を維持した爲大陸メーカーの中には或は長い間の落潮も終りを告げて底値をついたものと樂觀し年の初

に希望をかけてゐた向もあつたが、休會明けの取引所(ブラッセル)は正月氣分とは云ひ乍ら立會人も寂寥々取引も見べき物殆んど皆無の有様に市況は又元の軟弱氣勢に立戻つた。それでも上旬頃は休氣分の抜けない爲だとははながら悲觀論を打消して居たが日を経るに従つて軟化の趨勢更に倍加するを見、市中不安人氣濃厚となり、自耳義はルクセンブルグメーカーの投賣を、ルクセンブルグメーカーは自耳義の新規注文争奪に焦慮するを愚痴めき合ふ有様であつた。自耳義メーカーをして云はしむるならば「ルクセンブルグの競争は其度益々鋭く現在の市況悪化は彼等の賣抜けの爲である」となし、ルクセンブルグメーカーは「自耳義のメーカーこそ其の責任を負ふべきである、彼等は 3 月迄の注文は既に満腹であるに拘らず 4 月以後大陸鋼塊組合の減産解除を期待して新規注文を涉漁してゐるのである。現在の市況より察して大陸鋼塊組合が減産率を低める様なことは考へられない。實に馬鹿げたことだ」とせゝら笑ふ。其の何れかは問題でない。大陸鋼塊組合が昨年 10 月より 12 月迄 2 割 5 分減産を聲明し、而も各國の實際生産額が其の範圍を出てないに拘らず、且又 1 月より 3 月迄更に 3 割減産迄制限率を擴張したにも拘らず市況の軟化するを見れば此の生産額を以つてしても尙且現在の需要にミートとしないであらう。

或は 1 月の市況が弱いのは毎年の例であるから 2 月以後漸時需要回復し相場も安定するだらうとまだ樂觀してゐる人もある様だが、今の様に混沌たる状態がノルマルの時代に於ける統計は殆んど無益なものではなからうか
此の間にあつて歐大陸メーカー間に價格協定が成立したと云ふ噂が市場に流布された。其の内容はもとより曖昧のものであるが大體次の如きものである。

一つは工形鋼(但し NP 型)の價格協定で 1 月 9 日頃市場に其の成立が傳へられ獨、白、ルク、佛の 4 國メーカーが紳士協約を結んで最低價格、輸出港 3 磅 18 志を協定したと云ふのである。

他の一つは 1 日遅れた 10 日頃棒鋼に付いても同様の協約が出来輸出港渡 4 磅 7 志 6 片を維持しようとする云ふことである。

此等は何れも最低價格の協定に止まり且全メーカーを網羅するのではなく有力なるメーカーの結合であると云はれてゐるが當時の相場は、工形 3 磅 13 志、棒鋼 4 磅 3 志、而も其後の相場は何れも右協定値段より遙かに下廻つてゐるので單なる噂か然らずんば全く實効なきものであると思はれる。

然し大陸鋼塊組合が共販組合の形成を目論み既に實行

委員を擧げて、目下準備研究中であることは確かであるから、近き將來に於て何等かの形式で組合組織が出来はしまいかと云ふことは考へられないことではない。目下組合組織の最も難關とされてゐるのは棒鋼で、メーカーの数が甚しく多い爲に意見利害區々で、一致點を見出すことが困難であることであると云はれてゐる。

次に獨逸に起つた第 2 の出来事として賃銀の引下、其につれて鐵國內相場の値下を報道しなければならぬ。即ち、數箇月前から問題になつてきたルール炭鐵労働者賃銀引下げ問題に對し、1月10日賃銀調停裁判官が本年1月より半箇年間6分の賃銀引下を妥當なりと裁決したことである。其の裁決は炭鐵主側は1割2分を至當なりと主張し、労働組合は4分の引下げのみを容認して繫争に屬してゐた事件に對するものである。此の裁決に對して組合側も備者側も共に反對したが結局正式裁決となると信ぜられる。

そこで鐵相場に對する影響であるが鐵の購入者側は國內相場が一體高過ぎる、我々機械製造業者の疲弊は言語を絶し、西部獨逸に於ける工場の如き僅かに能力の30%をして動かし得ない實状にあるのであるから此の際根本的値段改正を要求すると絶叫し、鐵鋼聯合會の態度は石炭の値下り(即ち賃銀の低下に依る)即生産費の低下だけ値下げをする(現在相場の6分、棒鋼で云へば7麻克半乃至8麻克)を主張したが、結局全製品に就て7分弱の値下を斷行、14日正式に發表された。

此の値下の爲に下旬獨逸内地市況はめずらしく活況を呈し、メーカー輸出相場の不採算を見つゝ、漸時輸出市場より脱退内地市場に移りつゝあると云はれてゐる。

ブラツセル取引所週報及相場次の如し。

1月7日 休會明けの最初の立會として市場閉放、商談少し。まとまつた注文(主として棒鋼)が支那からあつたが、亞爾然丁、加奈陀の買付はホツホツ、英國向取引は全くなし。

半製品市場 商談整はず、然しメーカーは既注文をかへてデリバリーは8—10週間と云つてゐる。相場弱し。

製品市場 棒鋼の商内少なし。型物、鋼板は殆んど皆無、問屋は僅かながら下値を唱えてゐるが、メーカーは寧ろ強ばつてゐる。

1月14日 商内更に減少、棒鋼、工形の紳士協約の噂を他所に相場弱し。

1月21日 中旬を過ぎて白耳義市場もノルマルの状態に歸るだらうと豫想されてゐたが商内依然少く大口注文の如き影をだに見せない。工場能力の餘力を満さうと

主として大工場の價格讓歩が試られてゐるが然し一般的に既注文はまだ可成り豊富である。

半製品市場 英國より大口注文なく12月中旬より市場活氣なし。

製品市場 全製品に亘り取引少く市場好轉の氣配見えず。

1月29日 1月最後の立會として立會人は多かつたが商内は比較的少く、日本よりの可成りの引合があつたのみで、全體から見れば輸出はまだ困難である。メーカー手持注文は段々手薄となつて、相場も10月の底値に近付きつゝある有様、値段の定安は當分望めまい。

半製品市場 英國、加奈陀、スカンデナビヤより少量の引合があつたのみ。

製品市場 棒鋼の相場全く落付かず、メーカーや問屋の出す値段もサイズと數量に依つて開きが非常に大きい、工形に對する佛蘭西の競争尙止まず、鋼材市場も更に軟化。

| | 1月7日 | 14日 | 21日 | 28日 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 棒鋼 | 4-3-6 | 4-2-6 | 4-2-3 | 4-1-9 |
| 工形(N.P.) | 3-13-6 | 3-12-6 | 3-12-6 | 3-11-6 |
| 〃(B.S.) | 3-15-6 | — | 3-14-3 | 3-13-0 |
| 山形(大型) | 4-3-0 | 4-2-6 | 4-1-3 | 3-18-3 |
| 鋼板(4.5mm) | 4-15-6 | 4-15-0 | 4-14-6 | 4-11-6 |
| 〃(3.2mm) | 4-17-9 | 4-16-6 | 4-17-0 | 4-14-6 |
| 〃(1.6mm) | 5-2-0 | — | 5-2-3 | 5-0-0 |
| ピレット(2") | 3-12-0 | — | 3-11-9 | 3-11-9 |
| シートバー | 3-14-0 | — | 3-13-9 | 3-13-9 |

東西市況—落付き 舊正月も終り冬眠から覺めた地方筋は期節に入ると共に追々と買氣付いた模様であるが、仲間取引は前旬に引きかへ一寸腰折れの形で沈靜を傳へられて居る。中小型山形除をいては各種統制機關に統制されて一般に落ち付き氣味と見られて居る。

東京市況

丸鋼 6mmの伸鐵物による緩和状態はそのまゝ不變、9mmは製鐵所製品が關東共販に委託されることとなつた爲め統制の威力を豫感して聊か買進み氣味なものと、4月以降契約の分から新型録の計算によることとなつたので、實看との差が狭げめられたる爲め稍硬化の模様である、ベース物は需要状態面白からず加之安値物の入荷を氣構へて小甘し、50mm以上不變。

角、平鋼 角の12mm迄は伸鐵に押され氣味だつたが近來安材料入手困難となつた爲め平隱、平2½以下は52圓の安値物の注文に益槍3'以上は外注安も崇つて不冴。

型鋼 今旬の花形は中小型山形である、共販の成否

目前に迫つてあらゆる考慮が拂はれて鶴の目鷹の目の状態である、特に9mm×75mmは品掠れに稍引き戻しを傳へられて居る、大型山形は手持豊富と、不振の賣行に鈍状を續け、溝、工も總體に荷動き鈍く頭重の域を脱することが出来ぬ模様である。

鋼板 鋼板は他鋼材に比しては不相變波瀾重疊に推移して居る、1.6mmは荷動きも相當あつて一時の頽勢から戻し氣味とはなかつたが外注安に脅かされて利食ひ急ぎとなり稍弱腰を傳へられ、2.3,3.2は品薄に活氣ありて戻り、4.5は一步步々上伸して3×6,7圓2,30錢、4×87圓丁度、5×106圓7,80錢と硬化の一途を辿つて居る、6.0以上は現物は高値落ち付きであるが先行は安値物の消化力に1點の疑念を持たれて居ると云はれて居る。

大阪市況

丸鋼 細丸は民間製鋼業者側としては強氣に頑張り居るも伸鐵側が安値に供給する爲め相場は聊か呆り氣味と云はれ中丸ものも當所品の出廻り順當にて幾分落付を見せて居る。

角、平鋼 角鋼の鈍状は前報に同じ。平鋼は從來伸鐵もの、安値に叩かれ低迷せしも過般來細丸もの持直しにその能力を丸鋼に轉ぜしものか市場は品掠れを現出し幾分引返し並時5圓70錢カッチリにて取引されてゐる様子である。

型鋼 山形鋼中形ものは落勢滔々として以前の切板の感があつたが昨今5圓60錢翳みにて一寸堰止めた態である、而し實需の少い昨今とて目先の好轉は覺束ないであらうと云はれてゐる。大型もの不變、工形鋼、溝型鋼共に世間の春の氣分をよそ顔に冬の永い眠りから覺めず商内は至極閑散裡に推移してゐる。

鋼板 一中板は其後順次入荷の爲め幾分下押し氣味となつた。而し荷動きは相當ある模様にて相場もこゝらで保合か。厚板は既報の如く共販設立以來不相變強を持續してゐるやうであるが實際取引は前報よりも1.0錢方安値の6圓見當にて行はれて居る。

線材 目下の呼値は

大陸物 1英噸 金76圓 神戸製鋼品 1噸 金72圓50錢
當所品 1噸 金73圓である。

外註品入荷も懸念されしほどなき模様にて相場も稍々安定の姿にて幾分強含み状態といはれて居る。

鐵力板 世界的不況の折柄需要激減し爲めに本國も環境には抗し難く減産に減産を以てしたるため最近品拂底を傳へられ需要期接近と共に大分見直したものの、如く従つて目下外註品の入荷愈々少く内地市場も幾分これが影響を受けて昨今安値ながらも弗々商談行はれてゐる模様である。値ごろ安で買入の食指動きどうやら商機の接近を思はしめるものがある。

訂正通知 販賣旬報第152號前號189頁昭和5年12月及6年1月契約高中次の通り一部訂正す

(イ) 12月契約高

| 品種欄 | 區分欄 | 民間小計 | | 12月中合計 | | | | 本年度累計 | | | |
|---------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|------------|------------|-------|-------|
| | | 金額 | | 金額 | | 噸當 | | 金額 | | 噸當 | |
| | | 誤 | 正 | 誤 | 正 | 誤 | 正 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| 線鋼 以 以上 | 材小 計計 計計 | 1,003,285 | 1,097,785 | 1,003,285 | 1,097,785 | 66.86 | 73.16 | 4,381,090 | 4,475,590 | 74.44 | 76.04 |
| | | 3,213,787 | 3,308,287 | 4,897,404 | 4,991,904 | 74.91 | 76.35 | 40,028,293 | 40,122,793 | 91.72 | 91.94 |
| | | 4,349,627 | 4,444,127 | 6,033,244 | 6,127,744 | 70.04 | 71.71 | 43,722,141 | 43,816,641 | 87.08 | 87.87 |
| | | 4,597,835 | 4,692,395 | 6,284,300 | 6,378,800 | 69.48 | 70.53 | 45,486,340 | 45,580,840 | 85.63 | 85.81 |

(ロ) 1月契約高

| | | | | | |
|---------------|----------------|------------|------------|-------|-------|
| 線鋼 以 以上 | 材小 計計 計計 | 4,386,470 | 4,480,970 | 74.45 | 76.05 |
| | | 43,123,301 | 43,217,801 | 89.89 | 90.09 |
| | | 47,030,119 | 47,184,619 | 85.99 | 86.16 |
| | | 48,970,450 | 49,064,950 | 84.02 | 84.18 |

2、3月線材薄板鋳力板輸入速報

| 區分 品名 | 中 旬 | | | | 下 旬 | | | | 上 旬 | | | 合計 |
|----------|-----------------------|-------------------|-----------------------|-------|------------------------|------------------------|-----------------|-------|-----------------------|-----------|-----------|----|
| | 神戸 自2月8日 至2月18日 | 大阪 自9日 至18日 | 横濱 自2月8日 至2月17日 | 計 | 神戸 自2月19日 至2月27日 | 大阪 自2月19日 至2月27日 | 横濱 横濱報告 未 | 計 | 神戸 自2月28日 至3月8日 | 大阪 " " | 横濱 " " | |
| 線材 | B.W.G.No.5 458 | 539 | 201 | 1,198 | " 125 | 406 | | 1,224 | 253 | 355 | 1,832 | |
| 其 他 | 212 | — | — | 212 | " 262 | 143 | | 403 | — | — | 403 | |
| 計 | 670 | 539 | 201 | 1,410 | " 387 | 549 | | 1,627 | 253 | 355 | 2,235 | |
| 上中旬計 | 1,887 | 1,126 | 654 | 3,667 | 2月計 2,274 | 1,676 | | | | | | |
| 薄板 0.7mm | — | 248 | 296 | 544 | " 60 | 119 | | — | 480 | — | 480 | |
| 以 下 | | | | | | | | | | | | |
| 上中旬計 | 217 | 623 | 403 | 1,243 | 2月計 276 | 742 | | 102 | 61 | 471 | 634 | |
| 鋳力板 | 201 | 15 | 206 | 422 | " 240 | 34 | | | | | | |
| 上中旬計 | 467 | 142 | 719 | 1,328 | 2月計 707 | 176 | | | | | | |

東京大阪市中相場

(單位圓)

| 寸 法 | 上 旬 | | 中 旬 | | 下 旬 | |
|--------------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 東京 2月 9日 | 大阪 2月 5日 | 東京 2月 18日 | 大阪 2月 15日 | 東京 2月 27日 | 大阪 2月 25日 |
| | 丸 | | 鋼 | | | |
| 6mm | 7.90 | 7.80 | 8.10 | 7.80 | 8.10 | 7.80 |
| 9 | 5.95 | 5.80 | 5.90 | 5.90 | 5.90 | 5.80 |
| 12 | 6.00 | 6.00 | 6.00 | 6.05 | 6.00 | 6.05 |
| 19 | 5.80 | 5.95 | 5.90 | 6.00 | 5.80 | 6.00 |
| 25 | " | 5.85 | " | 5.90 | " | 5.90 |
| 50 | 6.00 | 6.20 | 6.00 | 6.00 | 6.00 | 6.30 |
| 65 | " | 6.00 | " | " | 6.10 | 6.00 |
| | 角 | | 鋼 | | | |
| 9mm | 6.20 | 5.90 | 6.30 | 5.60 | 6.20 | 5.70 |
| 12 | 6.10 | 6.00 | 6.20 | 5.85 | 6.10 | 5.80 |
| 15 | 6.00 | " | 6.10 | 6.00 | 6.00 | " |
| 19 | 6.10 | " | 6.30 | " | 6.20 | 6.00 |
| 38 | " | 6.10 | 6.20 | 6.10 | " | " |
| | 平 | | 鋼 | | | |
| 1/4" x 1 1/2" | 5.65 | 5.70 | 5.70 | 5.60 | 5.65 | 5.65 |
| 1/4" x 2" | " | 5.75 | " | 5.60 | " | 5.70 |
| 1/4" x 3" | 5.75 | 5.80 | 5.90 | 5.90 | 5.75 | " |
| 3/8" x 4" | 6.20 | 5.70 | 6.20 | 5.80 | 6.20 | " |
| 1/2" x 4" | " | 6.00 | " | 6.00 | " | " |
| | 等 邊 山 形 鋼 | | | | | |
| mm mm mm | 5.70 | 5.65 | 5.70 | 5.85 | 5.70 | 5.75 |
| 6 x 50 x 50 | 5.75 | " | " | " | 5.75 | 5.70 |
| 6 x 65 x 65 | 5.85 | " | 5.75 | 5.80 | 5.80 | 5.65 |
| 9 x 75 x 75 | 6.65 | 6.70 | 6.75 | 6.70 | 6.80 | 6.70 |
| 9 x 130 x 130 | " | 6.60 | 6.70 | 9.80 | " | 6.75 |
| 12 x 130 x 130 | 6.70 | 6.50 | 6.75 | 6.70 | 6.70 | " |
| 15 x 150 x 150 | | | | | | |
| | 不 等 邊 山 形 鋼 | | | | | |
| 3/8" x 2" x 3" | 6.50 | 6.30 | 6.60 | 6.50 | 6.50 | 6.30 |
| 3/8" x 3" x 4" | 5.70 | 5.80 | 5.80 | 6.10 | 5.75 | 6.00 |
| 3/8" x 3 1/2" x 5" | 5.75 | " | 5.85 | " | 5.80 | 5.90 |
| 3/8" x 4" x 6" | 6.70 | 6.80 | 6.75 | 7.20 | 6.75 | 6.80 |
| 1/2" x 4" x 6" | 6.80 | 6.70 | 6.85 | 6.90 | 6.80 | 6.70 |

| 寸 法 | 上 旬 | | 中 旬 | | 下 旬 | |
|---------------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 東京 2月 9日 | 大阪 2月 5日 | 東京 2月 18日 | 大阪 2月 15日 | 東京 2月 27日 | 大阪 2月 25日 |
| | 溝 形 | | 鋼 | | | |
| 1/4" x 2" x 4" | 6.40 | 6.80 | 6.40 | 6.80 | 6.40 | 6.90 |
| 0.312 x 2 1/2 x 5 | 6.90 | 7.00 | 6.90 | 7.20 | 6.90 | 7.10 |
| 3/8" x 3" x 6" | 6.55 | 6.80 | 6.65 | 7.00 | 6.60 | 6.80 |
| 3/8" x 3" x 8" | 6.50 | 6.50 | 6.70 | 6.70 | 6.50 | 6.60 |
| 3/8" x 3 1/2" x 10" | 6.70 | 6.90 | " | 7.20 | 6.60 | 7.10 |
| 3/8" x 3 1/2" x 12" | " | 7.00 | " | 7.00 | " | 7.00 |
| | 工 形 | | 鋼 | | | |
| 1/4" x 3" x 6" | 6.60 | 6.80 | 6.60 | 6.80 | 6.50 | 6.80 |
| 3/8" x 6" x 12" | 6.80 | 7.20 | 6.90 | 7.50 | 6.80 | 7.30 |
| 0.28 x 4 x 8 | 6.55 | 6.80 | 6.60 | 6.80 | 6.55 | 6.80 |
| 0.35 x 5 x 12 | 6.90 | 7.50 | 7.00 | 7.80 | 7.00 | 7.60 |
| 0.36 x 5 x 10 | 6.80 | 7.00 | 6.90 | 7.00 | 6.80 | 7.30 |
| | 鋼 板 | | | | | |
| mm | 8.80 | 8.90 | 9.20 | 9.30 | 8.90 | 8.80 |
| 1.6 x 3' x 6' | 8.70 | 8.80 | 9.00 | 8.90 | 8.80 | " |
| 3.2 x 4 x 8 | 7.90 | 7.85 | 7.80 | 8.30 | 7.85 | 7.70 |
| 3.2 x 5 x 10 | 8.05 | 8.00 | 8.20 | 8.00 | 8.05 | 7.20 |
| 6.0 x 4 x 8 | 6.50 | 6.00 | 5.60 | 5.00 | 6.50 | 6.10 |
| 6.0 x 5 x 10 | " | " | " | " | " | " |
| 9.0 x 4 x 8 | " | " | " | " | 6.40 | " |
| 9.0 x 5 x 10 | " | " | " | " | " | " |
| | 薄 鋼 板 (13 枚) | | | | | |
| 米 | 54 | 55 | 55 | 55.5 | 55 | 55 |
| 英 | 53 | 54 | 53.5 | 54 | 53.5 | 54 |
| 八 幡 | 53 | 53 | 53.5 | 53.5 | 53.5 | 53.5 |
| | 鋳 力 板 | | | | | |
| 米 | {170 lbs 20.00 | 19.50 | 20.40 | 19.00 | 20.20 | 19.00 |
| | {100 11.00 | 10.95 | 11.10 | 10.80 | 11.00 | 10.80 |
| 英 | {170 17.00 | 17.50 | 17.20 | 16.80 | 17.00 | 16.80 |
| | {100 8.80 | 9.00 | 9.00 | 9.30 | 8.90 | 9.30 |
| 八 幡 | {170 16.80 | 17.00 | 17.00 | 16.70 | 16.80 | 16.70 |
| | {100 8.80 | 8.80 | 9.00 | 8.50 | 8.90 | 8.50 |
| | 線 材 | | | | | |
| No. 5 | 77 | 73.00 | 78.50 | 72.00 | 78.00 | 71.50 |

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

昭和6年1月中國別輸入數量表

(單位噸)

| 品 種 | 國 別 | 英 | 佛 | 獨 | 白 | 塊 | 和 | 典 | 合 | 關 | 印 | 其他 | 計 | 前年同計 |
|--------------------------|---------------------------------------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 條及竿鐵 | (丸、角、平形にして、 徑又は幅15mmを 超えざるもの) | 19 | 75 | 42 | 4 | — | — | 75 | — | — | — | 15 | 230 | 1,691 |
| 〃 | (丸、角、平の もの其他) | 97 | 2 | 1,075 | 167 | 59 | — | 14 | 53 | — | — | 38 | 1,505 | 3,885 |
| 〃 | (テ—形及 アングル形) | — | 57 | 87 | 8 | — | — | — | — | — | — | — | 152 | 3,470 |
| 〃 | (其 他) | — | 53 | 1,043 | 4 | 9 | — | — | 271 | — | — | — | 1,380 | 4,752 |
| レ — ル | | — | — | 114 | — | — | — | — | 55 | — | — | — | 169 | 1,646 |
| フィッシュ、プレート | | 4 | — | 4 | — | — | — | — | — | — | — | — | 8 | 262 |
| ワイヤード | (巻きたるものに して徑5mmを 超えざるもの) | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 〃 | (巻きたる もの其他) | 103 | — | 2,854 | 102 | 34 | — | 102 | 640 | — | — | — | 3,835 | 7,116 |
| 鐵板 | (金屬を鍍せざるものに して厚0.7mmを超え ざる鉄鋼板) | 31 | — | 97 | — | 10 | — | 71 | 155 | — | — | — | 354 | 955 |
| 〃 | (金屬を鍍せざるものに して厚0.7mmを超え ざるもの其他) | 211 | — | 296 | — | — | — | — | 18 | — | — | — | 526 | 3,303 |
| 〃 | (金屬を鍍せざるものに して厚3mmを超えざ るもの) | 25 | — | 137 | — | 3 | — | 2 | 116 | — | — | — | 283 | 2,108 |
| 〃 | (金屬を鍍せざ るもの其他) | 3 | — | 22 | — | 3 | — | — | 7 | — | — | — | 35 | 3,666 |
| 〃 | (錫鍍したるも の)(葉鐵及葉鋼) | 642 | — | 30 | — | — | — | — | 1,991 | — | — | 157 | 2,820 | 7,244 |
| 〃 | (亞鉛鍍したるもの) | — | 53 | — | — | — | — | — | 35 | — | — | 6 | 94 | 239 |
| 〃 | (其他卑金屬を 鍍したるもの) | 30 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 30 | 24 |
| 鐵 線 | | 16 | — | 18 | 11 | 8 | — | 33 | 224 | — | — | — | 310 | 290 |
| リ — ド・ワイヤー | | — | 1 | — | — | — | — | 1 | — | — | — | — | 2 | — |
| 鐵 リ ホ ン | | 61 | 21 | 238 | 38 | — | — | 18 | 18 | — | — | — | 444 | 491 |
| 帶 (箍 鐵) | | 348 | 155 | 476 | 6 | — | — | — | 5 | 4 | — | 6 | 1,000 | 4,602 |
| パラゴン・ワイヤー | | 9 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 9 | 25 |
| 線 索 | | 5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 5 | 104 |
| 撚 合 線 | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| バーブド・ツイス ト・ワイヤー | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 鐵 筒 及 管 | | 61 | 27 | 380 | — | 6 | 84 | 16 | 308 | — | — | 202 | 1,084 | 4,579 |
| 特 殊 鋼(稅表一) | | 11 | — | 2 | — | 15 | — | 8 | — | 2 | — | 6 | 44 | 198 |
| 〃 (稅表二) | | — | — | — | — | 11 | — | 13 | — | — | — | 1 | 25 | 64 |
| 鐵 道 車 輛 用 軸 | | — | — | — | — | — | — | — | 16 | — | — | — | 16 | 3 |
| 鐵 道 車 輛 用 軸 | | — | — | 9 | 54 | — | — | — | — | — | — | — | 63 | 132 |
| 鐵 道 車 輛 用 軸 | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| ス プ リ ン グ | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 合 計 | | 1,677 | 444 | 6,974 | 394 | 158 | 84 | 353 | 3,912 | 6 | — | 431 | 14,433 | 50,849 |
| フェロ・マンガニース | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 149 |
| フェロシリコン及シリコ スピーゲルアイゼン | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金 | | — | — | 15 | 1 | — | — | 3 | — | — | — | — | 19 | 75 |
| シ — ト バ ー (テ インバーを含む) | | — | — | 2,516 | — | — | — | — | — | — | — | — | 2,516 | 5,041 |
| インゴット・ブルーム・ ピレット及スラップ | | — | — | 243 | — | — | — | 8 | — | — | — | — | 251 | 738 |
| ケツグスチール及 パンプスチール | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 39 |
| 其 他 の 塊 及 錠 鐵 | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 合 計 | | — | — | 2,774 | 1 | — | — | 11 | — | — | — | — | 2,786 | 6,042 |
| 銑 屑 及 故 鐵 | | 410 | — | — | — | — | — | — | — | 10,236 | 9,126 | 3,930 | 19,772 | 30,038 |
| | | — | — | — | — | — | 254 | — | 949 | 363 | 3,860 | — | 9,356 | 51,399 |

昭和 6 年 1 月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

| 區分 寸法 | 角 鋼 | | | | 計合 | | | | |
|----------|---------|---------|---------|-------|-------|----|----|----|-------|
| | 民間向普通鋼 | | 規格品及特殊鋼 | | | | | | |
| | 阪神 揚 | 京濱 揚 | 其他 | 計 | | | | | |
| 6mm | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 6.5 | — | — | — | — | 2 | | | | |
| 7 | 5 | — | — | 5 | 5 | | | | |
| 9 | 1,362 | 967 | 200 | 2,529 | 2,529 | | | | |
| 10 | — | — | — | — | 1 | | | | |
| 12 | 70 | — | 75 | 145 | 145 | | | | |
| 13 | — | 4 | — | 4 | 6 | | | | |
| 14 | — | 1 | — | 1 | 1 | | | | |
| 15 | — | 7 | — | 7 | 7 | | | | |
| 16 | 1 | — | 71 | 72 | 4 | | | | |
| 17 | 1 | 1 | — | 2 | 2 | | | | |
| 18 | 30 | 20 | — | 50 | 50 | | | | |
| 19 | — | 8 | 20 | 28 | 35 | | | | |
| 21 | — | 11 | — | 11 | 11 | | | | |
| 22 | — | 4 | 10 | 14 | 18 | | | | |
| 24 | — | 7 | — | 7 | 7 | | | | |
| 25 | 3 | 32 | 15 | 50 | 50 | | | | |
| 26 | — | 8 | — | 8 | 8 | | | | |
| 28 | — | 14 | — | 14 | 20 | | | | |
| 30 | — | 19 | 10 | 29 | 29 | | | | |
| 32 | 1 | 23 | 19 | 43 | 43 | | | | |
| 34 | — | 17 | 11 | 28 | 28 | | | | |
| 36 | — | 33 | 39 | 72 | 77 | | | | |
| 38 | — | 7 | 12 | 19 | 23 | | | | |
| 40 | — | 25 | — | 25 | 33 | | | | |
| 42 | — | — | 2 | 2 | 5 | | | | |
| 44 | — | 26 | 9 | 35 | 35 | | | | |
| 48 | — | 5 | 4 | 9 | 9 | | | | |
| 50 | 160 | 49 | 10 | 219 | 219 | | | | |
| 55 | 82 | 11 | 6 | 99 | 102 | | | | |
| 60 | 39 | 18 | — | 57 | 57 | | | | |
| 65 | 92 | 20 | 2 | 114 | 123 | | | | |
| 70 | 11 | 2 | 7 | 20 | 22 | | | | |
| 75 | 79 | 35 | 6 | 120 | 123 | | | | |
| 80 | 30 | 13 | — | 43 | 46 | | | | |
| 90 | 59 | 33 | — | 92 | 92 | | | | |
| 95 | 22 | 13 | — | 35 | 35 | | | | |
| 100 | 23 | 50 | — | 73 | 86 | | | | |
| 110 | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 115 | — | — | 3 | 3 | 3 | | | | |
| 120 | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 125 | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 140 | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 150 | — | — | 15 | 15 | 15 | | | | |
| 170 | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 180 | — | — | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 丸鋼計 | 2,075 | 1,483 | 581 | 4,139 | 15 | 17 | 40 | 72 | 4,211 |

| 區分 寸法 | 角 鋼 | | | | 平 鋼 | | | | 計合 |
|----------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-----|-------|
| | 民間向普通鋼 | | 規格品及特殊鋼 | | 民間向普通鋼 | | 規格品及特殊鋼 | | |
| | 阪神 揚 | 京濱 揚 | 其他 | 計 | 阪神 揚 | 京濱 揚 | 其他 | 計 | |
| 12mm | 45 | 65 | — | 110 | — | — | — | — | 110 |
| 13 | — | — | — | — | — | — | 2 | 2 | 2 |
| 16 | 50 | 240 | — | 290 | — | — | 1 | 1 | 291 |
| 19 | 55 | 30 | — | 85 | — | — | — | — | 85 |
| 22 | 12 | 3 | — | 15 | — | — | — | — | 15 |
| 25 | 101 | 10 | — | 111 | — | — | 1 | 1 | 112 |
| 28 | 23 | 8 | — | 31 | — | — | — | — | 31 |
| 32 | 100 | 35 | — | 135 | — | — | — | — | 135 |
| 38 | 106 | 77 | — | 183 | — | — | — | — | 183 |
| 44 | 60 | 44 | — | 104 | — | — | — | — | 104 |
| 45 | 2 | — | — | 2 | — | — | — | — | 2 |
| 46 | 2 | — | — | 2 | — | — | — | — | 2 |
| 50 | 64 | 13 | — | 77 | — | — | — | — | 77 |
| 55 | 7 | — | — | 7 | — | — | — | — | 7 |
| 65 | 18 | 10 | 2 | 30 | — | — | — | — | 30 |
| 70 | 1 | — | — | 1 | — | — | — | — | 1 |
| 75 | 31 | 22 | 1 | 54 | — | — | 20 | 20 | 74 |
| 80 | 1 | — | 7 | 8 | — | — | — | — | 8 |
| 90 | 32 | 23 | 9 | 64 | — | — | — | — | 64 |
| 100 | 21 | 19 | 7 | 47 | — | — | — | — | 47 |
| 120 | — | — | 1 | 1 | — | — | — | — | 1 |
| 130 | 13 | — | 5 | 18 | — | — | — | — | 18 |
| 140 | — | — | 5 | 5 | — | — | — | — | 5 |
| 150 | 1 | — | 6 | 7 | — | — | 4 | 4 | 11 |
| 角鋼計 | 745 | 599 | 43 | 1,387 | — | — | 28 | 28 | 1,415 |
| 平鋼計 | 648 | 700 | 199 | 1,547 | 8 | — | 13 | 21 | 1,568 |
| 棒鋼計 | 3,468 | 2,782 | 823 | 7,073 | 23 | 17 | 81 | 121 | 7,194 |

昭和 6 年 2 月中當所製品揚地別發送高

(單位噸)

| 品名\區分 | 揚 地 別 | | | | | | | | | | 合 計 | |
|-------|----------|----------|-------------|----------------------------------|------------------------|----------------------------------|--------------|------------------------|------------------------|---------------------------------|-----|-------------|
| | 阪神 地方 | 京濱 地方 | 當 所 渡 | 伊勢 灣 東 海 道 地 方 | 山陰 北 陸 地 方 | 內海 沿 岸 四 國 地 方 | 奧羽 地 方 | 關門 九 州 地 方 | 北海 道 樺 太 方 | 滿 鮮 關 東 州 地 方 | | 支 那 灣 |
| 鋼材 | 1,000 | 348 | 99 | — | 92 | 500 | — | 303 | — | 1,516 | — | 2,610 |
| 鋼片及鋼塊 | 19,450 | 17,833 | 6,805 | 1,903 | 134 | — | — | 747 | — | 2,101 | 334 | 39 |
| 副製品 | 20,450 | 18,181 | 6,904 | 1,903 | 226 | 500 | — | 1,050 | 121 | 3,617 | 334 | 2,649 |
| 合 計 | 362 | 226 | 1,919 | — | — | 3,754 | — | 1,639 | — | — | — | — |
| 合 計 | 20,836 | 18,420 | 24,512 | 1,922 | 226 | 5,315 | — | 4,506 | 121 | 3,617 | 334 | 2,649 |

昭和6年1月中當所品種寸法別生産高 (其の一) (單位噸)

| 法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 |
|-------------|--------------|--------------|-----|-------------|-----|------|-----|------------|----|-------------|----|
| 棒鋼の部 | | 平鋼 | | 溝形鋼 | | 2.4 | 8 | 計 | | 5,564 | |
| 丸鋼 | | 19mm | 163 | 5"×2½" | 448 | 2.5 | 34 | 鋼板計 | | 8,386 | |
| 9mm | 2,938 | 25 | 24 | 6×2½ | 178 | 2.6 | 8 | 鉾力板 | | 軌條 | |
| 10 | 4 | 32 | 7 | 6×3 | 183 | 3 | 14 | 170lbs | | 9K 1,021 | |
| 12 | 127 | 38 | 6 | 7×3 | 335 | 3.2 | 800 | 100 | | 15 184 | |
| 13 | 15 | 44 | 6 | 7×3½ | 65 | 3.17 | 1 | 95 | | 33 1,324 | |
| 14 | 1 | 50 | 8 | 8×2½ | 17 | 3.5 | 18 | W.G.B.No. | | 37 7,988 | |
| 15 | 13 | 65 | 3 | 8×3 | 18 | 3.6 | 1 | 30 | | 計 | |
| 16 | 440 | 75 | 373 | 8×3½ | 177 | 4 | 93 | 29 | | 719 | |
| 18 | 28 | 100 | 338 | 100×50 | 25 | 4.5 | 159 | 計 | | 617 | |
| 19 | 351 | 117 | 5 | 125×65 | 33 | 5 | 133 | 3,090 | | スパイキ 81 | |
| 21 | 31 | 計 | | 300×90 | 146 | 5.5 | 4 | 0.35mm | | トラツク 21 | |
| 22 | 382 | 平鋼計 | | 計 | | 6 | 317 | 0.43 | | ボルト 21 | |
| 23 | 6 | 6,599 | | 1,625 | | 6.3 | 8 | 矽素鋼板 | | ナツト | |
| 24 | 26 | 型鋼の部 | | 型鋼計 | | 6.35 | 1 | 3mm | | 計 | |
| 25 | 252 | 等邊山形鋼 | | 11,775 | | 6.5 | 16 | 32 | | 719 | |
| 26 | 3 | 30mm | | 13,374 | | 7 | 198 | 43 | | 軌附合計 | |
| 28 | 47 | 35 | | 線材の部 | | 7.5 | 22 | 117 | | 其他鋼材の部 | |
| 32 | 120 | 40 | | 線材 | | 8 | 117 | 195 | | ボルト 3 | |
| 34 | 3 | 50 | | 5.5mm | | 9 | 10 | 10 | | ナツト 10 | |
| 36 | 11 | 65 | | 計 | | 9.5 | 162 | 3mm | | リベット 13 | |
| 38 | 86 | 75 | | 4,620 | | 10 | 9 | 4.5 | | 鋼線 15 | |
| 40 | 8 | 100 | | 計 | | 10.5 | 9 | 6 | | 外輪 360 | |
| 42 | 3 | 130 | | 6,420 | | 11 | 10 | 8 | | 車軸 43 | |
| 44 | 53 | 150 | | 製釘材 | | 11.5 | 5 | 9 | | 計 | |
| 50 | 9 | 200 | | 5.5mm | | 12 | 182 | 10 | | 434 | |
| 55 | 3 | 計 | | 2,911 | | 12.5 | 8 | 9 | | 鍍成品 | |
| 105 | 1 | 不等邊山形鋼 | | 計 | | 13 | 51 | 10 | | 普通鋼 56 | |
| 110 | 5 | 30mm | | 2,911 | | 14 | 108 | 15 | | 電氣爐鋼 4 | |
| 115 | 6 | 50×35 | | 線釘合計 | | 15 | 24 | 16 | | 計 | |
| 120 | 4 | 65×50 | | 7,531 | | 16 | 95 | 17 | | 其他鋼材合計 | |
| 150 | 22 | 75×50 | | 鋼板の部 | | 17 | 2 | 2 | | 494 | |
| 160 | 20 | 75×65 | | 鋼板(0.7mm以下) | | 18 | 34 | 6.2mm | | 鋼材總計 | |
| 170 | 19 | 80×60 | | B.W.G.No. | | 19 | 45 | 6.8 | | 50,187 | |
| 180 | 14 | 90×75 | | 33 | | 20 | 8 | 9 | | 銑鐵 | |
| 計 | 5,051 | 100×75 | | 31 | | 22 | 5 | 10 | | 本所 31,109 | |
| 角鋼 | | 125×90 | | 30 | | 25 | 101 | 15 | | 洞ケ 14,044 | |
| 38mm | 65 | 150×90 | | 29 | | 28 | 5 | 計 | | 戸 10,548 | |
| 44 | 159 | 4"×3½" | | 23 | | 32 | 4 | 435 | | 計 | |
| 50 | 26 | 工形鋼 | | sheets | | 34" | 2 | 耳付鋼板 | | 55,701 | |
| 55 | 25 | 300×150 | | 13 | | 1 | 5 | 計 | | 合金鐵 | |
| 65 | 115 | 24"×7½" | | 7 | | 1.4 | 35 | 普通鋼板二級品 | | 塊 33 | |
| 75 | 38 | 計 | | 30 | | 1.42 | 6 | 未剪斷鋼板 | | 塊 33 | |
| 80 | 8 | 2,430 | | 7 | | 1.44 | 3 | 計 | | 塊 33 | |
| 100 | 136 | Z形鋼 | | 鋼板(0.7mm超) | | 1.46 | 3 | 疵物鋼板 | | 塊 33 | |
| 120 | 10 | 1mm | | 134 | | 1.48 | 3 | 計 | | 塊 33 | |
| 130 | 22 | 1.2 | | 60 | | 1.5 | 26 | 不定尺鋼板 | | 塊 58,468 | |
| 150 | 11 | 1.4 | | 208 | | 1.52 | 3 | 計 | | 塊 33 | |
| 計 | 615 | 1.5 | | 15 | | 1.54 | 16 | 不良耳付鋼板 | | 塊 1,065 | |
| | | 1.6 | | 1,183 | | 1.56 | 5 | 計 | | 塊 10 | |
| | | 1.85 | | 64 | | 1.57 | 78 | 鋼板合計 | | 塊 412 | |
| | | 2 | | 75 | | 1.6 | 2 | 12,552 | | 塊 59,955 | |
| | | 2.3 | | 537 | | 1.7 | 12 | 鋼板合計 | | 塊 59,955 | |

昭和6年1月中當所品種寸法別生産高表 (其の二) (單位噸)

| 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 |
|-----|--------|-------|-------|----|-------|----|----|----|----|----|----|
| 鋼片 | | シートバー | | 短尺 | 1,386 | | | | | | |
| 内部向 | 37,003 | 内部向 | 3,061 | 層鋼 | 865 | | | | | | |
| 外部向 | 2,601 | 外部向 | 6,330 | 計 | 2,201 | | | | | | |
| 計 | 39,604 | 計 | 9,391 | | | | | | | | |

昭和5年12月民間棒鋼生産高表 (單位噸)

| 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 | 寸法 | 噸數 |
|-----|-------|----|-------|-----|--------|-----|----|----|-----|-----|--------|
| 丸鋼 | | 20 | 4 | 50 | 110 | 角鋼 | | 平鋼 | | 3½" | 4 |
| 6mm | 214 | 22 | 2,324 | 55 | 50 | 9mm | 10 | | | 其他 | 4 |
| 8 | 43 | 25 | 2,346 | 60 | 135 | 12 | 8 | ¾" | 1 | 計 | 582 |
| 9 | 202 | 28 | 423 | 65 | 85 | 16 | 8 | 1 | 75 | | |
| 11 | 89 | 30 | 19 | 70 | 11 | 25 | 13 | 1⅝ | 7 | | |
| 12 | 3,649 | 32 | 294 | 85 | 4 | 44 | 1 | 1¾ | 20 | | |
| 14 | 1 | 36 | 55 | 95 | 17 | 50 | 51 | 1⅞ | 11 | | |
| 16 | 2,722 | 38 | 383 | 100 | 11 | 其他 | 5 | 2 | 279 | 總計 | 17,159 |
| 17 | 457 | 42 | 184 | 其他 | 295 | 計 | 96 | 2¼ | 18 | | |
| 19 | 2,117 | 44 | 156 | 計 | 16,481 | | | 2½ | 152 | | |
| | | 48 | 79 | | | | | 3 | 11 | | |

昭和6年2月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

| 品種\區分 | 神戸 | 大阪 | 横濱 | 2月計 | 前月計 | 本年累計 | 前年同期累計 |
|------------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 丸鋼 | 115 | 63 | 155 | 333 | 434 | 767 | 7,005 |
| 角鋼 | — | 5 | — | 5 | 54 | 59 | 893 |
| 平鋼 | 73 | 1 | 62 | 136 | 174 | 310 | 3,247 |
| 等不溝工 | — | — | — | — | — | — | 4,424 |
| 等山形 | — | — | — | — | 102 | 102 | 2,442 |
| 工形 | — | — | — | — | 59 | 59 | 1,439 |
| 鋼板(0.7mm超) | 88 | 105 | 124 | 317 | 396 | 467 | 4,019 |
| ”(0.7mm以下) | 277 | 707 | 464 | 1,448 | 193 | 510 | 14,721 |
| 軾軌線 | 728 | 172 | 1,308 | 2,208 | 2,311 | 4,519 | 10,489 |
| 力條材 | 34 | — | 196 | 230 | 103 | 333 | 2,938 |
| 線 | 3,356 | 1,572 | 1,063 | 5,991 | 2,901 | 8,892 | 12,299 |
| シートパイ | 426 | — | 540 | 966 | 866 | 1,832 | 3,031 |
| ル管 | 19 | 243 | 538 | 805 | 693 | 1,498 | 7,498 |
| 鋼其他 | 101 | 29 | 203 | 306 | 472 | 778 | 4,816 |
| 計 | 5,217 | 2,875 | 4,724 | 12,816 | 9,159 | 21,975 | 86,668 |
| 硫磺 | 10,532 | — | — | — | — | — | — |
| 石炭 | 20 | — | — | — | — | — | — |
| ナフ | 76 | — | — | — | — | — | — |
| クレゾ | 13 | — | — | — | — | — | — |
| ル | — | — | — | — | — | — | — |